

学校経営方針

赤穂市立有年小学校

I 学校経営の基本理念

これからの未来を担う子どもたちが、社会情勢の激しい変化が続く中を生き抜くには、想定外の事象と向き合い、対応する力や不透明な未来を切り拓く力が求められている。さらに、ウェルビーイングの向上や持続可能な社会の実現といった新たな価値が加わった現在、学校教育の果たす役割と責任は日ごと増すばかりである。一方で、少子高齢化社会の到来は、地方周辺部においては特に顕著であり、経済効率主義を正義とする横暴が、少人数規模の学校施設を非効率の象徴かのように統廃合へと追いやっている現状がある。

本校は児童数24名の小規模校である。しかし、ここにも将来の「在りたい自分」や「在りたい社会」を描き、主体的に他者と協力・協働しながらその実現に向けてひたむきに学ぶ子どもたちがいる。そして、その子どもたちを、地域社会全体で「地域の宝」として守り育もうという強い信念に満ちた地域社会がある。学校を核とした「地域とともにある学校」として、本校はこの地域には必要不可欠な存在であるとともに、そんな子どもたちの姿は、地域の活力の源でもある。

コミュニティ・スクールとして、地域に根ざした教育活動を推進している本校において、少人数のメリットを最大化した取組とその教育効果及び存在意義の顕示は、子どもたちの学びの場を保障する大切な取組である。3つのチーム担任ユニットで構成された教職員17名の真摯な教育活動の積み重ねが、24の瞳を輝かせ、この有年小学校区の「灯り」となることを願う。

子どもたちが将来の夢や目標に向かって主体的に自己実現を図ることをめざして、自分らしく安心して過ごせる学校を構築するとともに、人権尊重の精神を基盤として、すべての児童に生きる力「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を培い、保護者や地域から信頼され、必要とされる学校経営をおこなっていく決意である。

<基本理念の7項目>

- 1 知徳体の調和のとれた「生きる力」と「ふるさと意識」の醸成
- 2 基礎・基本の確実な定着と学ぶ楽しさのある学習指導の工夫
- 3 児童の内面への共感的理解に基づく生徒指導の充実
- 4 多様性を認め合い、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- 5 豊かな自己実現をめざし、新たな価値を創造する探究学習の充実
- 6 地域との信頼関係を基盤に据えたコミュニティ・スクール「地域とともにある学校」の推進
- 7 安定した日常と刺激ある行事のミックスによる、心躍る教育活動の創意工夫

II 学校教育目標

自他を大切に、夢と志をもって学び続ける児童の育成
～ふるさとの未来を拓く有年っ子～

III めざす児童像・教師像・学校像

1 めざす学校像

- 一人一人の良さを引き出し、違いを認め、高め合う学校
- 安全で安心な、地域から愛される学校
- 教師も児童も凡事徹底(あいさつ・掃除・廊下等)ができる落ち着いた学校

2 めざす児童像

- 自ら学び、ともに考え、磨き合う子
- 仲良く、ともに助け合う子
- 強い意志とたくましい体で、ともに鍛え合う子

3 めざす教師像

- 主体的な研修と授業実践に努め、教育の専門職としての力量を高める教師
- 児童・保護者・地域の期待に応え、信頼される教師
- 能力・適性をいかしながら協働し、積極的に学校運営に参画する教師

IV 重点目標

- 1 人権尊重の精神を育み、お互いを尊重し合う人権文化を醸成するとともに、全教育活動を通して自己有用感や達成感を味わわせ、自尊感情を培う。
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた授業づくりと新たな価値を創造する探究学習を合科的に実践する。
- 3 小規模の良さをいかしたカリキュラムマネジメントを推進し、PDCAサイクルによる教育活動の見直しと、ICTや地域人材を効果的に取り入れた工夫ある教育内容の充実を図る。
- 4 GIGAスクール構想をふまえ、家庭・関係機関と連携した体系的な情報教育を通し、SNS等の正しい活用をはじめとした情報モラル、情報活用能力を育成する。
- 5 赤穂市コミュニティ・スクール指定校として、「地域とともにある学校」の充実を図り、学校規模の良さを生かした特色ある教育を実践し、積極的な情報発信を行う。
- 6 特別支援教育コーディネーターを中心として、特別支援教育の工夫・充実に努めるとともに、個々のニーズに応じた合理的配慮の提供や個別の指導計画および教育支援計画の活用を進め、児童一人一人に対する共通理解を図り、校内支援体制の充実を図る。

V 校訓

ほがらか はつらつ すこやか

1 ほがらか：「確かな学力」を育む【知】

- (1) 主体的・対話的で深い学びを保障する授業づくり
 - *児童が自ら進んで対話し、考えを深め合う授業
 - *児童が見通しをもって主体的に学習する授業（「わかった」「できた」が実感できる授業）
 - *目標と指導と評価の一体化
 - *学習規律と学習習慣の定着
 - *読書習慣の確立
- (2) 豊かなかかわりをとおした探究する力の育成
 - *探究学習のプロセスにそった、「体験」「対話」「交流」のある教育活動の工夫
 - *「個別最適な学び」と「協働的な学び」のある授業づくりの推進
- (3) 特別支援教育の充実
 - *校内委員会の定例開催による情報共有と指導の充実
 - *児童の特性に即した指導の手立てや合理的配慮の研究
 - *関係機関（NPO法人、大学、育成センター等）との連携、支援体制の充実
- (4) GIGAスクール構想をふまえたICTを活用した授業改善
 - *一人1台のパソコン等を用いて主体的に学習する児童の育成
 - *ICT機器を活用した効果的指導と発達段階に応じた情報活用能力の育成

2 はつらつ：「豊かな心」を育む【徳】

- (1) 人権教育の充実
 - *自他を尊重し合う心の育成と児童が安心できる心の居場所づくり
 - *全ての児童が「わかる・できる」充実感を味わうことができる授業づくり
 - *多様な価値観や今日的人権課題の理解促進
- (2) 道徳教育の充実
 - *全教育活動を通じた道徳的実践力の涵養と道徳科授業における補充・深化・統合
 - *「対話的な学び」を通して生き方についての考えを深める道徳科の授業

- (3) ふるさと有年学習の充実
 - *「ふれあい」「ふるさと」「ふかまり」を大切に交流・体験・探究活動の充実
 - *地域人材活用による協働学習の推進と「有年っ子わくわくフェスティバル」での魅力発信
- (4) 開発的生徒指導の充実
 - *カウンセリングマインドによる児童理解と指導力・対応力の向上
 - *不登校を生まないための「不登校対策プラン」に基づく生徒指導の充実
 - *いじめ防止基本方針に基づく、いじめの積極的認知・未然防止・早期発見・早期対応におけた組織的対応の充実

3 すこやか:「健やかな体」を育む【体】

- (1) 体力・運動能力の向上を図る指導の工夫及び改善
 - *年間を通した体力づくりへの意欲向上と運動習慣の定着
 - *「体育のあゆみ」や体力テストの結果を踏まえた体育学習の改善
 - *体幹トレーニングの実施と外遊びや異年齢集団での遊び(有年っ子タイム)の奨励
- (2) 家庭と連携した生活習慣の改善と向上
 - *ゲーム、インターネット等に関する家庭ルールの実行への支援
 - *「早寝・早起き・朝ごはん」運動や「歯みがきカレンダー」による基本的な生活習慣の定着
 - *給食センターと連携した食育指導体制の確立と指導内容の充実
 - *生活アンケートの実施と結果考察の家庭への啓発
- (3) 健康教育・安全教育の充実
 - *さまざまな感染症予防の徹底
 - *十分な安全指導・安全配慮によるけがの未然防止と安全意識の高揚
- (4) 家庭と連携した心の健康把握
 - *連絡アプリ「LINE スクール連絡帳」のアンケート機能活用による学校・家庭の情報共有
 - *SC、SSW との連携による多面的サポートとカウンセリングの実施

VI 信頼される学校づくりに向けて

1 安全・安心な環境

- (1) 危機管理体制の充実
 - *教職員の危機管理意識の向上と危機発生を想定した研修の実施
 - *危機管理マニュアルに即した安全点検の実施
 - *「ヒヤリ・ハット」を念頭に置いた教育活動の実施と適切な PDCA サイクルの見直し
 - *子どもの目線に立った安全点検の実施、危険箇所・修繕箇所の早期発見と迅速な対応
- (2) 学習環境の整備
 - *整理整頓が行き届いた学習環境の構築と学習の足跡がわかる効果的な掲示の工夫
 - *地域やPTAの協力を得た環境整備、校内美化活動の実施
 - *隠れたカリキュラムを意識した教師の言動と日常的な意識化
- (3) 基本的な感染予防対策の徹底
 - *新型コロナウイルスをはじめとする感染症防止の徹底
 - *教育活動中、登下校中等における熱中症対策の徹底

2 学校組織力の強化

- (1) 教育公務員としての高い使命感と倫理観
 - *自己の崇高な使命の自覚と豊かな人間性の涵養
 - *子どもと向き合う真摯な姿勢と積極的活用と学び続ける意欲と態度
 - *服務規律の遵守、体罰防止・情報管理の徹底
- (2) 教職員の資質能力の向上
 - *組織的な研究推進による学び合いの積み上げ
 - *OJTを通し、ともに高め合う職場文化の浸透
 - *自主的な研修による専門性の向上と得意分野の伸長
- (3) 教職員の協働体制の充実
 - *共通理解の下、それぞれの専門性を発揮し合う教職員集団
 - *「報告・連絡・相談」の徹底と記録の習慣化と「見える」化
 - *諸問題の早期発見、早期対応のための情報共有と組織的体制の確立

- (4) 学校評価の改善・充実
 - *学校自己評価・学校関係者評価の実施および公表
 - *学校評価に基づく教育活動の改善
- (5) 教職員の働き方改革の推進と業務改善
 - *タイムマネジメントを意識した働き方の工夫、実践とワーク・ライフ・バランスの推進
 - *勤務時間の適正化に向けた勤務時間の自己管理と記録簿の記入
 - *「子どもと向き合う時間」の確保に向けた業務改善、定時退勤日の完全実施
- (6) 職場環境の維持向上
 - *非違行為・ハラスメント防止の徹底と教職員のメンタルヘルスの維持向上
 - *互いを尊重し合い、支え合い、笑い合える風通しのよい職場づくり

3 課題教育の充実

- (1) 国際理解を深める教育の充実
 - *グローバルな視点に立った多文化共生教育の推進
 - *専科指導による英語教育(外国語科・外国語活動)の一層の充実
 - *ALTと連携した英語によるコミュニケーション能力の育成
- (2) 理数教育の充実
 - *観察・実験や数学的活動に関する指導力向上
 - *理科・算数に対する興味・関心・学習意欲を高めるための指導の工夫・改善
 - *ICT 機器を効果的に取り入れた授業の工夫・改善
- (3) 情報活用能力の育成
 - *「兵庫県版プログラミング教育スタートパック」の活用
 - *ドローンプログラミング教育の推進
 - *プログラミング的思考を育成する学習活動の工夫と計画的実施
 - *系統的な情報モラル教育の実施とICT環境を適切に活用に関する指導の充実
- (4) 福祉教育の充実
 - *PTAと連携した親子福祉体験学習の充実
 - *地域の高齢者施設(千種の苑・ピレッジ有年)との交流活動の充実
- (5) 環境教育の充実
 - *SDGsの考えを踏まえ、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動する力の育成
 - *地域での里山体験(3年)・長谷川探検(4年)や自然学校(5年)での環境学習の充実
 - *身近な環境問題への取組の工夫と充実
- (6) ふるさと意識を醸成する教育の充実
 - *地域と連携し、郷土愛を育む「ふるさと有年」の学習
 - *6年間の学びをつなぐ「有年っ子わくわくフェスティバル」による魅力発信を拡大
 - *体験に基づく対話活動の充実と豊かな表現力・コミュニケーション力の育成
- (7) 人権教育の充実
 - *多様な価値観や今日的な人権課題の理解促進に向けた全体計画・指導方法の工夫
 - *さまざまな体験活動を取り入れた、主体的・実践的な人権学習の工夫・改善
- (8) 防災・安全教育の充実
 - *学校防災マニュアルに基づく防災体制の充実と定期的な避難訓練の実施
 - *防災教育副読本「明日に生きる」を活用した「兵庫の防災教育」の充実
 - *過去の災害の教訓を生かし、次の災害に備える、地域と連携した防災学習の充実
 - *適切に判断し、命を守り抜く力の育成と自助・共助の防災意識の向上
- (9) キャリア教育の充実
 - *教科・領域に位置づけたキャリア形成と自己実現とコミュニケーション能力の向上
 - *体験活動及び事前事後指導の充実を通じた、社会と自分との関わり認識の深化
 - *キャリアノートやキャリア教育指導資料等の積極的な活用と評価
 - *発達段階に応じた基礎的・汎用的能力、課題対応能力の育成
- (10) 特別支援教育の充実
 - *一人一人の多様な教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供と指導の充実
 - *特別支援教育に関する職員研修の実施と指導力の向上
 - *ユニバーサルデザインに基づく授業づくりと教室環境の整備
 - *個別の指導計画・教育支援計画に基づく通常学級における特別支援教育の充実

(11) 体験活動の充実

- *達成感・自己有用感を高める工夫と事前事後指導の充実
- *地域の人々とのつながりを深める「ふるさと有年学習」活動の展開
- *自立心、人や社会と関わる力、豊かな情操の育成
- *オンライン交流などによる様々な「ひと・もの・こと」をふれ合う機会の充実

4 PDCAサイクルを通して改善に努め、地域に信頼され愛される学校

(1) コミュニティ・スクールとして「地域とともにある学校」の推進

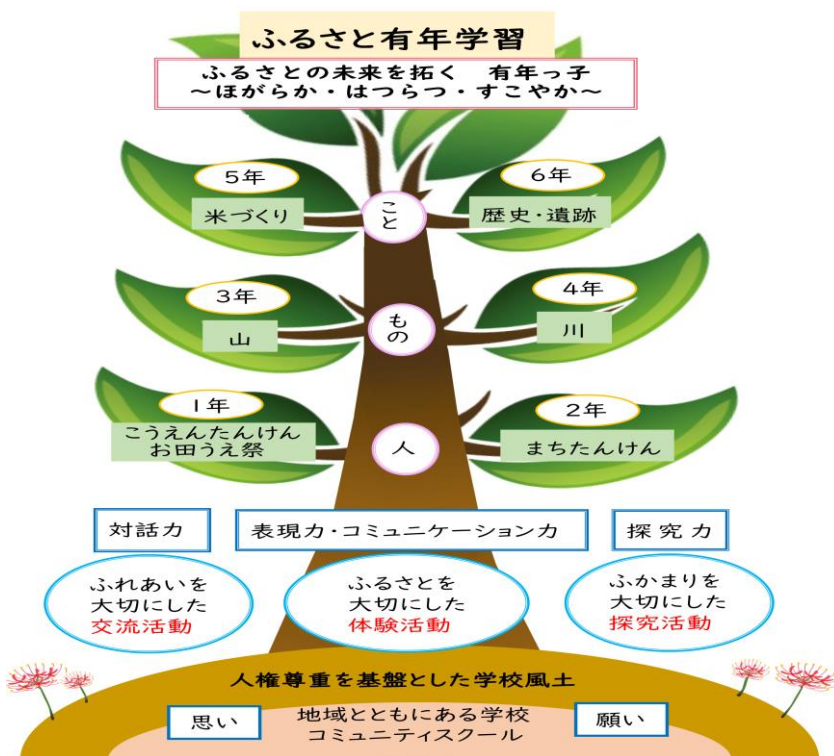
- *学校規模適正化問題に対する、学校・保護者・地域が一体となった取組の推進
- *学校運営協議会による学校運営への参画
- *学校運営協議会における「めざす児童像」を共有した教育活動の工夫
- *地域人材を生かした学校応援団的組織への取組
- *学校関係者評価による意見の聴取と改善

(2) 積極的な情報発信

- *小規模校の良さの積極的な発信と児童数減少に対する保護者の不安の解消
- *学校だより・学年だより・学校ホームページ等による定期的な情報発信
- *オープンスクールによる地域への積極的な学校公開

(3) 地域関係機関との連携

- *まちづくり推進協議会、育成推進委員会、スポーツクラブ21うね等との連携
- *中学校部活動の地域移行に伴う、社会教育活動の奨励



「おきたくん」



「おおかちゃん」

<有年小学校キャラクター>